

《キーワード》 医科 - 歯科の連携、全身疾患、歯科疾患

《担当者名》 別途周知

【概要】

高齢化が進み、医学の進歩に伴って多くの重篤な疾患を持った患者が長期にわたり生活が可能となった。また、医科 - 歯科診療の連携が言われ続けられており、口腔疾患が全身の健康に及ぼす影響については、多くの科学的根拠が示されてきている。歯周疾患への全身との関わり（糖尿病、動脈硬化症など）、ビスホスホネートと顎骨壊死、嚥下性肺炎とその予防、感染性心内膜炎など歯科疾患と全身疾患との関わりについて病理学的に理解を深めることである。

【学修目標】

1. 歯周疾患と全身との関わり（糖尿病、動脈硬化など）を説明できる。
2. ビスホスホネートと顎骨壊死の発症のメカニズムを説明できる。
3. 嚥下性肺炎とその予防を説明できる。
4. 感染性心内膜炎の発症の歯科的誘因を説明できる。
5. その他

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯周疾患と全身との関わり（糖尿病、動脈硬化など）		
2	ビスホスホネートと顎骨壊死の発症のメカニズム		
3	嚥下性肺炎とその予防		
4	感染性心内膜炎の発症の歯科的誘因		
5	その他		

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、診断レポートなどで評価する。

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

別途時間割を配付する。

【学修の準備】

事前に提示した到達目標について、歯科や関連した医科分野の教科書及び文献等を用いて予習しておくこと。